



みんな いきいき 住みよい街に

今年度も、地区福祉委員会、社協ボランティア連絡会をはじめ、関係団体との連携のもと、地域福祉活動計画に基づく取り組みを推進するため、盛りだくさんの事業を精力的に実施してきました。今回は、令和7年度の主な事業と日々の活動を紹介します。

ボランティアセンターの運営

地域福祉の充実、向上をめざし、より多くの方にボランティア活動に対する関心を高めてもらえるよう、次のような事業を行っています。

【ボランティア相談】

ボランティアの登録や施設からのボランティア派遣、活動情報などボランティアを「したい」、「してほしい」方がたの相談に応じています。また、個人やグループによるボランティア登録に関する相談にも対応しました。

【広報・啓発】

昨年8月4日～8日にイゾイテシエルピア・ドゥで「ボランティア活動パネル展」を開催しました。社協ボランティアや校区ボランティアの活動を身近に知ってもらう機会となりました。

【活動支援】

社協ボランティア連絡会や災害ボランティアなど、ボランティア活動が地域で盛んに行えるよう相互に協力しています。また、ボランティア活動中の万一の事故やケガに備え、「ボランティア活動保険」「ボランティア活動行事保険」などの加入申し込みを受け付けて、活動を支援しました。

権利擁護サポートセンターかいつか

権利擁護サポートセンターかいつかでは、誰もが地域で安心して生活していくために、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力に不安のあるかたやそのご家族から、成年後見制度等に関する相談を受け付けています。

必要に応じて、弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門職への相談を調整します。また、成年後見制度の普及啓発をはじめ、行政・司法・医療・福祉との連携体制の構築や、市民後見人の活動支援にも取り組んでいます。

生活援助サービス従事者研修

研修で一定の技術や知識を習得すれば、介護保険事業における家事援助などホームヘルパー業務の一部を担うことができます。今年度は5月と10月に開催しました。



生活援助サービス従事者研修

障害者基幹相談支援センター

障害者基幹相談支援センターは、障害のあるかたやそのご家族の相談窓口です。また、障害のあるかたやご家族が住みやすい地域づくりに向けた様々な取り組みの拠点としての役割も担っており、相談支援専門員や地域の支援者のスキルアップを目指した相談支援部会や研修の開催、障害のあるかたの権利擁護についての啓発などに取り組んでいます。



泉州地域相談支援実務研修

生活を支援する取り組み

●おでかけサポート「らく楽便」

市内にお住まいの移動が困難な要支援高齢者や障害者などを対象に、社会参加の促進や買い物などの外出を支援するため、ボランティアによる移送サービス事業を実施しています。予約制で月曜～金曜に、2台の送迎車両が、それぞれ3つの時間帯(午前9時30分、正午、午後2時30分からの1時間30分)で運行しています。利用には事前登録が必要です。



おでかけサポートらく楽便 車両

●あんしんコール事業

見守り支援が必要なひとり暮らし高齢者や障害のあるかたなどを対象に、週1回月曜日または木曜日の午前中にボランティアが電話し、健康状態などを確認することにより、利用者の安否確認を行っています。利用には事前登録が必要です。

●移動販売車

大阪いずみ市民生協が運行する移動販売車の配車を希望する町会・自治会との調整を行っています。当該の町会・自治会と協議を重ね、現在、12地区で運行されています。

日常生活自立支援事業

市内で暮らす認知症や知的障害・精神障害などで、判断能力が十分でないかたを対象に、福祉サービスの利用についての援助や日常生活の金銭管理、通帳や書類の預りなどを行います。

利用者の意向を尊重しながら、安心して住み慣れた地域でその人らしく生活できるように支援しています。令和8年1月末現在、65名(認知症高齢者13名、知的障害者26名、精神障害者26名)のかたがこの事業を利用しています。

家計改善支援事業

家計管理に課題を抱えるかたからの相談に応じ、利用者とともに家計の状況を明らかにして、その状況から見える課題解決の方法について、一緒に考えて支援を行う事業です。

生活の再生に向けた道すじを明確にすることで、利用者の意欲を高め、その改善に必要な情報を提供し、アドバイスをします。これら一連の取り組みを通じて、利用者の家計を管理する能力を高めながら、利用者自身によって生活が再建されることを目的に支援します。

具体的には、滞納している税金や公共料金などの返済計画へのアドバイス、その返済を行うための家計表の作成の他、負債の状況によっては、多重債務相談窓口との連携や貸付の紹介などを行っています。

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)配置促進事業

福祉についての困りごとや悩みごとの相談を受け、福祉サービスの利用や地域生活をスムーズに行うことができるように関係機関とも連携し、必要なサービスや専門相談機関へつなぎます。

また、各町会・自治会ごとに、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、CSWなどをメンバーとした「拡大地域ケア会議」を開催し、潜在化している福祉ニーズの掘り起こしと、地域の要援護者が必要な支援を受けられる体制づくりを進めています。令和8年1月末現在、市内68地区で開催しています。



拡大地域ケア会議(葛城校区合同)

ふれあい喫茶・運営支援

現在、貝塚市内では62ヶ所でふれあい喫茶が開催されており、社協として支援を行っています。

・地域福祉活動計画事業推進費

喫茶立ち上げ時や備品買い替え時に購入費用を助成しています。立ち上げ時の支援とともに、申請から3年経過すれば、機材買い替えなど複数回の申請も可能です。

・運営補助金

貝塚市・社協ともに補助を行い、運営を支援しています。

・担当者会議

補助金申請手続きの説明や、情報提供、意見交換を行いました。※新規立ち上げを検討している場合などは、社協までお問い合わせください。



ふれあい喫茶風景(瀬)

地域貢献委員会

貝塚市地域貢献委員会は、市内の高齢者・障害者・児童などの社会福祉法人が、分野を越えて様々な地域福祉課題に連携・協働して取り組み、地域福祉の向上に寄与することを目的として、平成30年7月30日に設立しました。

今年度は1月27日に「生活困窮者レスキュー事業」をテーマに事例発表とグループワークを行い、レスキュー事業の活用について理解を深めるとともに、日頃から相談し合える関係づくりを進めました。



グループワーク風景

地区福祉委員会活動

地区福祉委員会は、小学校区単位で設置されています。統一テーマ事業(献血・独自ふれあい訪問・機関紙発行)やメニュー事業(青少年分野研修・障害者分野研修・人権分野研修・その他分野研修・ボランティアスクール・住民懇談会)の開催など、地域福祉課題の解決に向けた研修会を実施しています。また小地域ネットワーク活動(見守り活動など)のほか、校区の特色を活かしたさまざまな活動を展開しました。

子育て支援センター「ひだまり」

子育て支援センターは、未就学児のお子さんとその保護者が、遊べる共有スペースを開放しています。楽しく交流を深めたり、親子でいろいろな経験ができる他、保育士に相談などもできます。栄養・育児相談(身体測定)も定期的に行っています。

毎月のお誕生会や年に数回みんなで楽しく過ごせるイベントや子育て学習会、保護者のリフレッシュ講座なども企画しています。



節分の豆まき

「一時預かり事業」は、就学前の子育てをしている世帯を対象に、保護者がリフレッシュしたいときや就労、きょうだいの検診、行事参加など、預ける理由は様々ですが、できるだけ要望に沿えるよう対応し、子育て支援を行っています。利用料など詳細はお問い合わせ下さい。

(☎072-433-7064)

ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターでは児童保育への送迎や、臨時の就労、学校行事、冠婚葬祭など、支援を必要とする保護者のために、子どもを預かってほしいかた(利用会員)と、預かることができるかた(協力会員)が登録し、相互に助け合うしくみで活動しています。年会費・登録料は無料ですが、利用料などの詳細はお問い合わせ下さい。

また、定期的に日常にも役立つ講座を開催しています。1月には初めての試みとして袋を使った湯煎調理「防災クッキング」を実施しました。調理前は不安の声もありましたが作業はとても簡単で、できあがった料理もおいしく、参加者からは驚きの声があがりました。また、湯煎時間の合間に「我が家の防災」について参加者同士で意見を共有することもできました。

講座は市民のかたならどなたでも参加できます。ぜひ気軽にご参加ください。(☎072-433-7050)



防災クッキング講座

～できるときに、できることを、できるだけ～

第27回ボランティアフェスティバル in 貝塚に約530名が参加

2月23日、貝塚市役所前緑の広場と市役所6階多目的ホールでボランティアフェスティバルin貝塚を開催しました。

各校区のボランティアや関係者が一堂に会して、交流を深めるとともに、市民のみなさんに楽しみながら福祉や様々なボランティア活動を知っていただく機会となりました。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの人で活気があふれました。



緑の市民広場 つげさんふわふわ

模擬店

校区ボランティアの協力により、模擬店を出店し、参加者のみなさんにおいしい食べ物や飲み物を販売しました。

模擬店出店のために、多くのボランティアが、当日早朝から買い出しや準備にあたり、お昼前には完売しました。

演芸会

兒玉社協会長のあいさつの後、4人組のバンド「チェリー☆ユ」が、60年代のオールディーズから現代までの素敵な曲を披露。会場が感動に包まれました。

最後に、恒例のお楽しみ抽選会を行い、来場のみなさんに楽しんでいただきました。

パネル展

社協ボランティア、校区ボランティアの日頃の活動をわかりやすく紹介した写真パネルがきれいに飾りつけられ、終日展示されました。

販売コーナー

市内障害児者施設連絡会の5施設に協力いただき、クッキーや手づくり製品などの販売を行い、多くの人と交流を図ることができました。

作品展・遊びコーナー

事業所からたくさんのお客様と子どもたちの参加があり、イベントを盛り上げてくれました。

参加者からの声

参加者からは「ボランティアのかたと交流ができ参加して良かった」「施設で作った品を手渡して販売しました。笑顔で買ってもらって元気がなります」などの感想が寄せられました。